



## 中山間地における水稻直播（湛水直播）の取り組みについて

株式会社マイファーム



※大阪府能勢/天王ナチュラルファームの皆様

# 01 マイファームと水稻直播の取り組み

VISION

私たちのビジョン

人と自然の距離を近づけていく。それは自然から学び、理解することから始まる。  
その気づきの種をまき、その芽を育て、未来につなぐ。  
いまここから、そして100年先まで地球がある限り。「自産自消」が当たり前の社会を目指して



企業・自治体みなさま協働「農業生産事業の参入協働」  
農業界と他産業の架け橋を目指します。

もっと知りたい



各企業様と連携しながら、産地に直播を導入したり、定着するための「支援」を実施。



新規就農希望者への、1手法としての直播の情報伝達

# 01 マイファームと水稻直播の取り組み



日本各地で水稻生産者と話をする中で、  
1生産者・法人への水田集積が加速し、  
それに伴い、省力化技術である直播に対するニーズも  
高まっていると感じています。  
今後、更に直播が広がっていくには技術的な  
課題解決は勿論ですが、取り組みをしたい生産者が  
速やかに実施できる体制も必要です。  
そこで、我々は「鉄コーティング種子製造」及び「ドローン播種斡旋」と  
いう形でサポートします。



↑鉄コーティング種子製造中



↑圃場に入りながら対話



↑直播圃場の記録

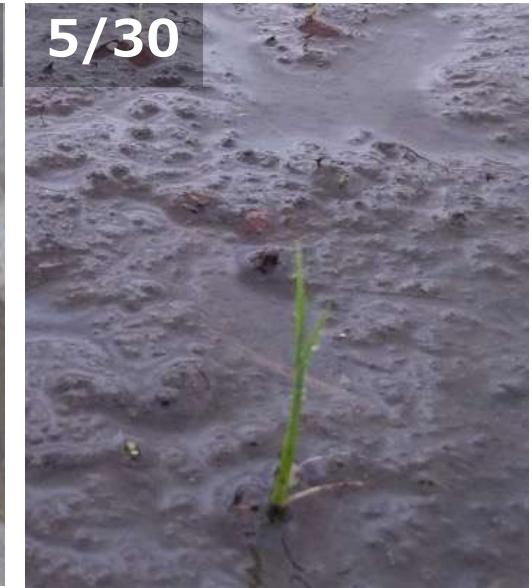
## 02 中山間地域における直播圃場



5/19 ※播種4日目



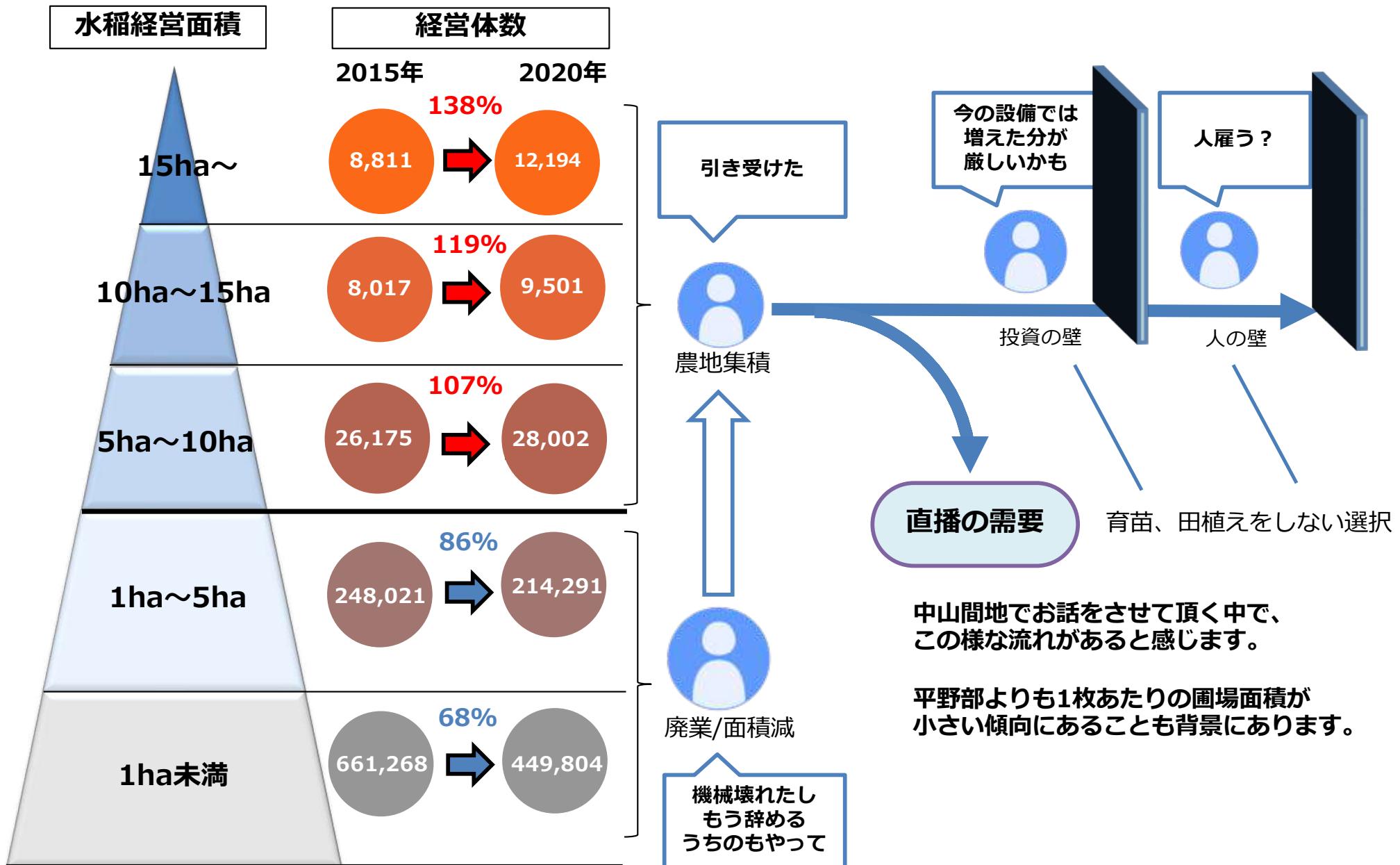
5/30



8/9



# 03 中山間地における水稻直播の重要性



図：水稻耕作面積別の経営体数の推移（2015→2020）,農林業センサス,農林水産省より作成

## 03 中山間地における水稻直播の重要性

中山間地域における直播普及には、獣害対策もセットであると考えます。

獣害は移植でも同様ではありますが、今回は作期分散を狙い直播した圃場が  
狙われた事例を紹介いたします。



# 04 中山間地における水稻直播と獣害

中山間地における、直播の導入期待



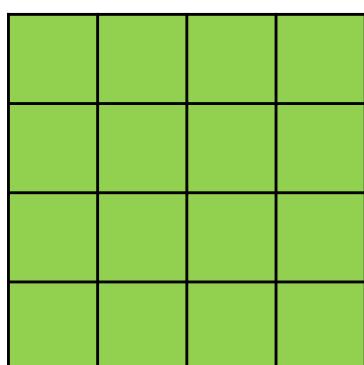
1人あたりの耕作面積が増えたことによる作期分散と省力化



最後に収穫残った圃場が狙い撃ちされる  
(場合によっては早い段階でも)

【従来】

一斉に田植え



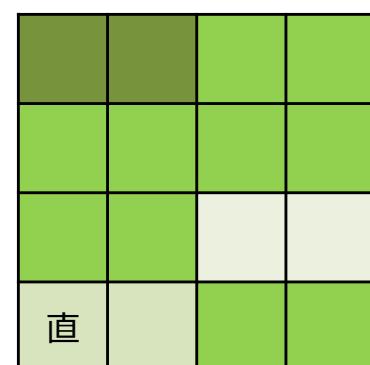
【現状】

面積が増え作期分散  
早稲品種や奥手品種導入



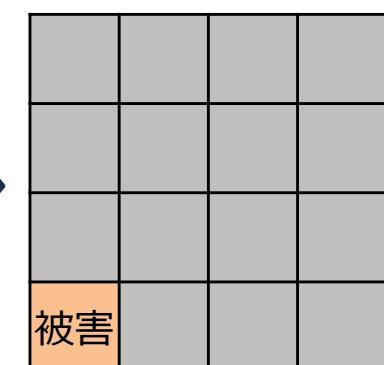
【発展】

一部を直播導入



【被害】

収穫が残った  
圃場が狙われる



被害は比較的分散

被害が集中

## 05 中山間地における水稻直播の獣害被害



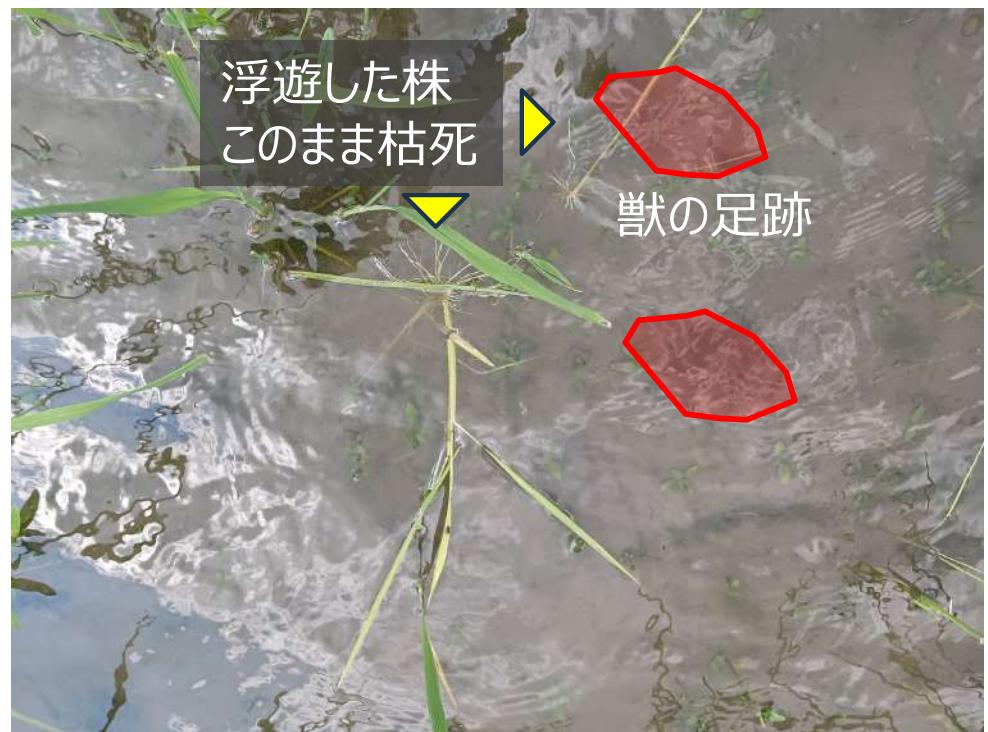
恐らく鹿による穂の食害

周辺の移植圃場の収穫が終わり、収穫が残った直播圃場  
結果として圃場の収穫量は2俵に満たず。  
(5/20播種 10月10日頃観測)

## 05 中山間地における水稻直播の獣害被害



苗立ち後の食害  
(5/20播種 7月10日頃観測)



恐らく鹿の踏み荒らしによる株の浮遊  
反射で見にくいが、幾つもの足跡があり。  
(右同様)

## 05 中山間地における水稻直播の獣害被害

出来る対策として、稻WCSによる直播（出穂後に刈り取ってしまう）や獣害対策が比較的少ない圃場を選定し実施する、といった取り組みは行われている。



鉄柵が壊されたり、鹿は飛び越えてきたりで100%の対策になっていないのも現状。  
※是非、これという対策があればご教示ください！



今後も、直播を導入した際の発生懸念の声がある。



## 06 最後に

勿論、中山間地の全ての直播圃場で獣害が起きてる訳では無く  
こういった事も起きている、という一例として述べさせて頂きました。  
ただ、今後も中山間地における直播の重要性が増していく中で、  
本件の様な事例が増える可能性も想定いたします。  
より安心して直播（移植も含め）に取り組める様、  
産地の声が上がった際には耳を傾けて頂ければ幸いです。

### 声

- ・圃場と山の境界が無くなってきてるため、緩衝地帯整備への支援
- ・耕作放棄されてしまった圃場への鉄柵支援